

平成28年度男女共同参画推進フォーラムを開催しました

熊本大学は、3月13日、沖縄科学技術大学副学長のマチ、ディルワース氏を迎え、男女共同参画推進フォーラムを開催しました。第一部には教職員55名、第二部には本学管理職等26名が参加しました。

第一部では、アメリカ国立科学財団（NSF）で長く働き、国際科学技術室長を務められ、1昨年より沖縄科学技術大学（OIST）副学長に就任されたマチ・ディルワース氏から、「Unconscious bias と人事・採用などにおける対策について」と題して、Unconscious bias（潜在的バイアス）が科学として取り上げられてきた歴史、その具体的な事例、それに対する海外やOISTでの研修内容等について、分かり易くご講演いただきました。参加者からは、「貴重な話を聞いて大変勉強になった」や「Unconscious biasについての対策の重要性が分かった」等の声が多く寄せられました。

続く第二部では、原田信志熊本大学長や理事等を交え、「学長を囲む研究者等の意見交換会」を実施しました。今回は「本学で女性リーダーを育て、増やすには!？」をテーマに、部局長・教員（教授職）等「将来の熊本大学運営を担う教職員」という観点から参加者を募りました。会場では、日本学術会議や学会、自治体審議会等でリーダーとして活躍されてきた3名の女性教員からの発言を受けて、ディルワース先生の助言も含めて、リーダーになった経過や初めてできる活動があること、女性リーダーが増えることの難しさ等に関する活発な意見交換がなされ、盛会のうちに終了しました。

